

10月21日(金)  
全国ホルスタイン共進会の全国大会出場を報告

5年に1度行われる全国ホルスタイン共進会に出場が決まった4人が、その報告に福村市長を訪れました。

福村市長が「今までの苦勞が大変だったと思います。全国へのお出前は大変名誉なこと。活躍を期待しています」と激励すると、4人を代表して梁池健次郎さんが「会場の栃木県までの体調管理が難しいが一生涯がんばります」と答えました。

全国大会へのお出者と団体は、次のとおりです。(敬称略)

- 第1部 梁池健次郎
  - 第6部 荒木武信
  - 第10部 乳ウエーブ利用組合(代表 益崎洋光)
  - 第11部 シスイサクセスフルドリームシンジケート(代表 梁池朋幸)
- ※大会は、11月4日(金)・5日(土)に栃木県で行なわれ、荒木武信さんが第6部で全国5位に輝きました。また、その他の出場者も健闘しました。



報告に訪れた4人、右から梁池朋幸さん、益崎洋光さん、荒木武信さん、梁池健次郎さん

10月23日(日)七城ふるさとコスモスウォークラリー

七城ふるさとコスモスウォークラリーが開催されました。今年、県内外から800人を超える参加者が200万本のコスモスが咲く菊池川・迫間川の河川敷を秋の心地よいそよ風に吹かれながら、家族や仲間と一緒にコスモスを観賞しながら歩きました。

午後からは抽選会があり、七城特産品のメロンや米などが参加者に配られ、会場内は賑わいを見せました。

また、七城小学校サブグラウンド会場では、七城町農業祭「七城のこめまつり」が同時開催され、演芸大会やお楽しみ抽選会などの催しもので会場内は、盛り上がりを見せていました。



200万本のコスモスが咲く中を歩く参加者(上・左)、抽選会(下)、同時開催の七城のこめまつり(右)



10月23日(日)男の料理教室



だご打ちに挑戦する参加者

花房公民館で男のための料理教室が開かれました。

30歳代から60歳代まで美食家12人が、中原道子さん・広田まつよさんの指導で伝承料理の「だご汁」を作りました。

この料理は肉類は一切使わず、昔ながらの素材と味にこだわった手軽でリーズナブルなヘルシー料理です。

麦の粉に塩と水を加えこねて生地を作り、それをしばらく寝かせてだご打ち台と麺棒で伸ばすうちに悪戦苦闘しながらも、幼いときの我が家のだごうちのエピソードが飛び出し、笑い声の中に楽しく料理が進みました。

仕上げりは、鍋ごとに違う味になりましたが、手作りのごぶづけ、梅干、おにぎりの差し入れにビールも付いて、参加した皆さんは「自作だご汁」の味に満足げでした。

10月8日(土)菊池市献穀事業「<sup>めきほさい</sup>抜穂祭」

皇居行事「<sup>にいなめさい</sup>新嘗祭」に献上する米(ヒノヒカリ)の抜穂祭が菊池市原(鍋倉区)の献穀田でありました。



稲穂を収穫する早乙女の皆さん

参加者約130人が見守るなか、菅笠をかぶった農協職員の早乙女が、黄金色に色づいた稲穂を収穫しました。

また、菊池農業高校の太鼓部による五穀豊穰を願う「豊饒太鼓」も演奏され、祭事に花を添えました。

10月26日(水)には、収穫選別を終了した献穀米が熊本県代表として米1升と粟5合が皇居に献上されました。

献穀者の有働敏徳夫妻、福村市長、熊本県の緒方農政部長が皇居に入り献納式が行われました。

有働さんは「熊本県の代表として献納することができて感激しました。皆さんの協力のおかげです」と話されました。

また、献上された米と粟は、11月23日の新嘗祭でも使用されました。

10月20日(木)  
渡辺昭一さんに農林水産大臣から感謝状

渡辺昭一さん(☉宮園)に、農林水産大臣から感謝状が贈られました。

この賞は、渡辺さんが農業経営統計調査に永年協力したことから贈られたもので、「統計の日(※)」を記念して熊本交通センターホテルで行なわれた、九州農政局主催の「農林水産大臣感謝状および表彰状伝達式」の中で、農林水産省が実施する農業統計調査に永年にわたって協力した人に、感謝状および表彰状が贈られました。



農林水産大臣から感謝状が贈られた渡辺昭一さん

今後の活躍が期待されます。

※統計の日  
統計の日は、昭和48年7月の閣議了解により、毎年10月18日が「統計の日」と定められました。

旧暦明治3年9月24日に太政官布告が公布された日を太陽暦に換算した日です。

10月10日(月)  
桜山八区子ども会が芋ほり

桜山八区(泗水町)の子どもたちが芋ほりをしました。

5月下旬に植えた苗が、地主の木村さんや菅区長などたくさんの人の協力で順調に育ち、今回の収穫を迎えました。

子どもたちは、どろんこになりながら芋を掘ったり、畑にいるカマキリを捕まえたり、大きな虫に驚いたりしながら自然にも触れ、秋の1日を楽しみました。

また、収穫した芋は同区老人会にも配られました。

この事業は桜山八区子ども会が昨年から行っています。



芋ほりに参加した子どもたち

10月20日(木)旭志小学校で稲刈り



昔ながらの鎌を使った方法で刈った稲を運ぶ旭志小の児童たち

旭志小学校で稲刈り体験が行われ、旭志小の全校児童330人が参加しました。

近年では重機での稲刈りが主流となっていますが、児童たちは昔ながらの鎌を使った方法で稲刈りをしました。

今回刈ったもち米は、児童たちの給食と特別養護老人ホームあさひが丘荘や菊池恵楓園、旭志地区の一人暮らしのお年よりに配られます。

また、同小学校ではそのもち米を使った餅つきも予定しています。